

千歳川遊水地群の整備事業が「全建賞」を受賞！

～軟弱地盤における適正な盛土施工技術が評価されました～

このたび、「千歳川遊水地群の整備事業」が評価され、札幌開発建設部千歳川河川事務所および江別河川事務所が、一般社団法人 全日本建設技術協会から【令和元年度全建賞】を受賞しましたので、お知らせします。

千歳川遊水地群は、千歳川流域の洪水時の水位上昇を抑えるために平成20年度から事業に着手し、流域に広がる軟弱地盤地帯において、適正な盛土施工技術、的確な品質の盛土材確保などにより、困難な課題を克服し、令和2年4月より流域6カ所の全ての遊水地の供用を開始することができました。

このような取り組みが評価され、令和元年度全建賞※（河川部門）を受賞しました。

受賞に当たっては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり授賞式は執り行われませんでした。この度、一般社団法人全日本建設技術協会より受賞にあたって表彰状と盾の授与があったのでご紹介するものです。

※全建賞とは、我が国の良質な社会資本整備の推進と建設技術の発展を促進するために設けられたものです。昭和28年（1953年）の全建賞創設以来、日本の社会経済活動を支える根幹的なインフラ整備や、その時々々の国民ニーズに沿った幾多の取り組みに授賞がなされてきました。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 千歳川河川事務所

副所長 三浦 克真（電話番号 0123-24-1114）

国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 江別河川事務所

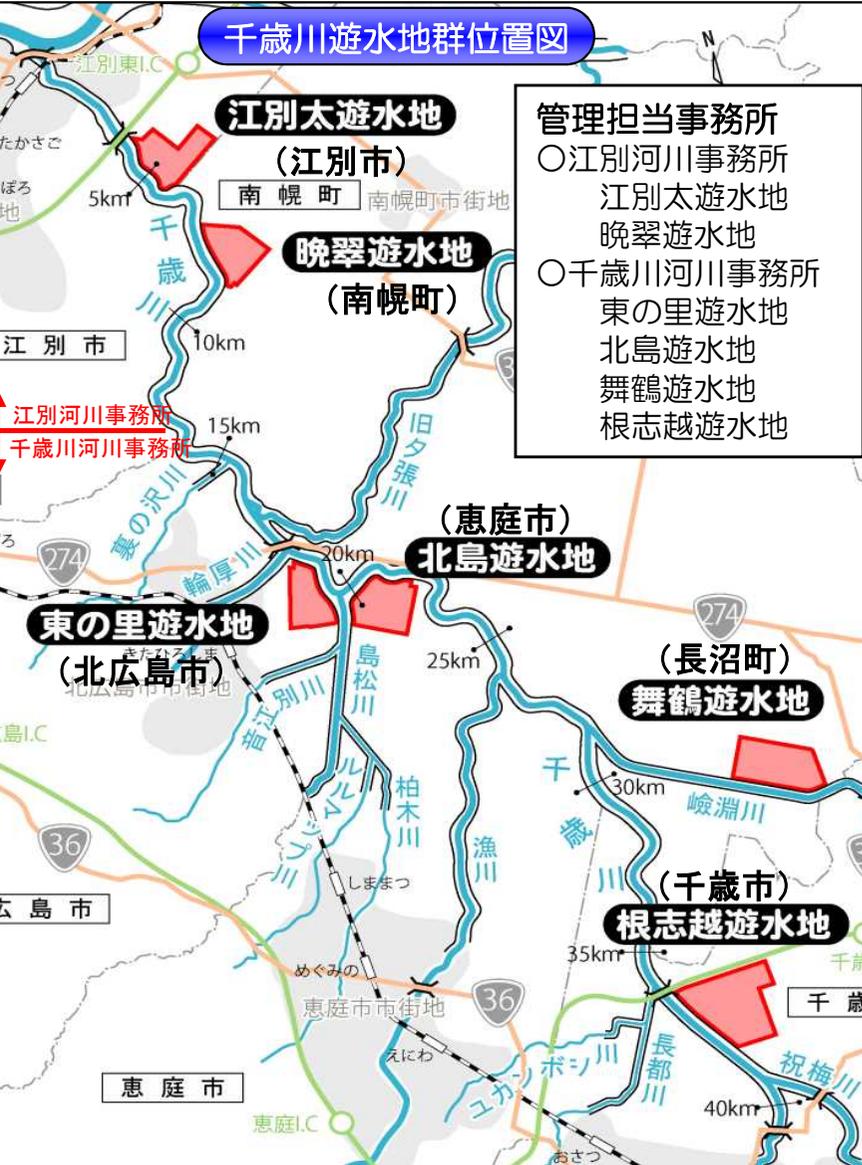
副所長 坂井 一浩（電話番号 011-382-2358）



札幌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/>

千歳川遊水地群の整備事業が『全建賞』を受賞

- 「千歳川遊水地群の整備事業」が令和元年度の河川部門の全建賞を受賞しました。
- 事業を実施した当部の千歳川河川事務所と江別河川事務所が表彰されたものです。
- コロナ禍の影響もあり、授賞式は執り行われませんでした。この度、一般社団法人全日本建設技術協会より受賞にあたって全建賞の表彰状と盾の授与があったのでご紹介するものです。



千歳川遊水地群の事業概要

千歳川遊水地群は、洪水時の水位上昇を抑えるために、洪水調節容量約5千万 m^3 の6つの遊水地を流域4市2町の千歳川本支川の地先に分散し整備したものです。平成20年度から事業を開始し、平成26年度に舞鶴遊水地が完成、令和2年4月から全ての遊水地で供用を開始したところです。

本事業の整備内容は、周囲堤、囲ぎよう堤、排水門、越流堤、内水調節施設等です。ただし、これらの整備にあたっては、泥炭や鋭敏な粘性土が広範囲に分布しているという流域の特性が課題でした。このため、緩速盛土と綿密な動態観測による段階施工の実施、さらに圧密の促進されない地盤については、堤防基盤改良としてほとんど事例のない真空圧密ドレーン工法や深層混合処理工法により地盤強度を確保しながらの施工が必要となりました。

また、遊水地の掘削土の有効活用を図るため、掘削土砂の混合攪拌調整を行うことで、築堤盛土に適した盛土材を確保して約690万 m^3 という膨大な盛土工事を完了させました。

評価された点

周囲堤の施工にあたって、北海道の開拓以来、大きな載荷がない素地盤での盛土となり、緩速盛土によっても所定の高さまでの盛土ができない泥炭層の箇所があるなど困難を極めたが、試験施工を繰り返し適正な施工を実現した点が評価された。



地盤強度増強のための深層混合処理工法



授与された全建賞の表彰状と盾

千歳川遊水地群（6遊水地）の上空からの状況

江別太遊水地（江別市）



晩翠遊水地（南幌町）



東の里遊水地（北広島市）



北島遊水地（恵庭市）



舞鶴遊水地（長沼町）



根志越遊水地（千歳市）

